

一般選抜S方式(総合)

(解答時間50分)

マーク解答は ～ です。

※記述式解答は です。

〔Ⅰ. 解答上の注意〕

1. マークシートによる解答は、下記の例にしたがいマークシートの解答欄に対応する解答群の中から、正しい答えの番号を選んでマークしてください。

(例) に③と答えたいとき。

解答番号	解 答 欄									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4	①	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

2. 記述式解答欄以外の余白には、マークしたり、下書き等の記入はしないでください。
(問題冊子の下書き欄を使用してください。)

〔Ⅱ. 注意事項〕

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
2. ①解答用紙は、マークシート1枚(両面)で、**裏面に記述式解答欄があります。**
②氏名を記入してください。
③座席番号を記入してください。
④代表受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄に正しくマークしてください。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等がある場合は、手を挙げて監督者に申し出て交換してください。
4. 試験途中の退席はできません。
5. 問題冊子の余白は適宜利用して構いません。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

合 第1問 次の文章は、日本経済新聞が二〇二五年四月に掲載した米国トランプ大統領の演説要旨の報道である。これを読んで、後
総 の問いに答えなさい。

トランプ米大統領が二日に公表した「相互関税」に関する演説の要旨は次の通り。

【 X 】

米国民の同胞たちよ、今日は「解放の日」だ。二〇二五年四月二日は、米国の産業が生まれ変わった日、米国が宿命を取り戻した日、米国を再び裕福にするために我々が動き始めた日として永遠に記憶されるだろう。

我々の国家は何十年にもわたり、距離や敵味方にかかわらず、あらゆる国家により略奪、陵辱されてきた。我が国と納税者たちは五〇年以上にもわたってぼたたくられてきた。この心配はもうない。

歴史的な大統領令に署名する。相互関税だ。「やられたらやり返す」ということだ。これ以上単純なことはない。

今日は米国史上、最も重要な日の一つになると思う。我々の「経済的独立宣言」だ。繁栄する 때가 来た。(関税で得た)何兆ドルもの資金を使い、迅速に減税を進め、政府債務も減らす。やっと米国を再び偉大にすることができる。

【対米関税を批判】

米国は何十年にもわたり、他国との貿易障壁を切り崩してきたが、こうした国々は我々の製品に多大なる関税を課し、我々の産業を破壊するために言語道断な非関税障壁を設けた。

為替を操作し、輸出品に補助金を出し、知的財産を盗み、過剰な付加価値税(VAT)を課し、我々の製品が不利になるよう不公平な規則を設けた。米国はこれまで反応を示さなかったが、そうした日々は終わる。

こうした悪質な攻撃の例を挙げよう。

米国は外国製のオートバイに二・四％の関税しかかけていない。しかし、タイは六〇％と高い関税を課し、インドは七〇％、ベトナムは七五％も課す。それ以上高い国もある。

【自動車】

同様に、米国は外国製の自動車に二・五％の関税を課していた。欧州連合(EU)は我々に一〇％の関税を要求し、二〇％のVATも上乘せる。

韓国や日本などが課してきた非関税障壁は特にひどい。日本国内の自動車のうち九四％は日本製だ。しかしトヨタは外国製の自動車一〇〇万台以上を米国に売りつける。我々の企業は他国への進出を許されていない。

敵も味方も同じだ。味方のほうがひどいケースもある。こうした不均衡は我々の産業基盤を破壊し、我が国の安全保障を脅かす。こうした国々を責めるつもりはない。^アこうした事態を許容し、仕事を怠った過去の大統領たちを責める。

そこで、深夜(米東部時間四月三日午前〇時一分)から、すべての外国製の自動車に二五％の(追加)関税をかける。

【農畜産物】

今日の措置により、散々な目にあってきた我が国の素晴らしき農家や牧場主のために、我々は立ち上がることができる。

カナダは、我々の乳製品の多くに二五〇―三〇〇％の関税をかけている。不公平だ。カナダのような国は我々の補助があるからこそビジネスが続いている。メキシコ(への補助金)は年間三〇〇億ドル、カナダは年間二〇〇億ドル近くだ。

なぜこのようなことをしているのか。自分たちのために働き始めないといけない。ここ数年で債務は肥大化した。これ以上は看過できない。

総合

EUは非関税障壁を通して、米国産の鶏肉の輸入を禁止した。彼らは「自動車を輸出したい。あらゆるモノを輸出したい。しかし、あなたが持つモノはいい」という。オーストラリアも、国民は素晴らしいが、米国産の牛肉の輸入を禁止している。

それでも、我々は昨年だけでオーストラリア産の牛肉を三〇億ドル分輸入した。

【日本】

我々の友である日本は（米国産のコメに）七〇〇％の関税をかけている。我々にコメを売ってほしくないからだ。誰も責めることはできない。

日本はとてつもなくタフで、国民も素晴らしい。彼らを責めない。とても賢いことだ。彼らは四六％（の関税）をかけている。自動車など特定の製品はさらに高い。彼らには二四％の支払いを要求する。

日本の首相、シンゾー（安倍晋三元首相）は素晴らしい男だった。不幸にも、暗殺によって命を落とした。

しかし、私は彼に対し「シンゾー、貿易に関してやるべきことがある。公平ではない」と伝えた。彼は「知っている」と言った。彼は紳士的で、直ちに理解した。そして、我々はデール（取引）を成立させた。

【米国を裕福に】

我々は、他国が二〇〇％、三〇〇％、四〇〇％の関税を設ける品目に対し、二・八％の関税しか課していない。関税や保護主義的な障壁が国家を貧しくするのであれば、地球上すべての国家が迅速にこうした政策を撤回するだろう。

米国は一七八九年から一九一三年にかけ、関税に支えられた。最も豊かだった期間だ。カネが腐るほどあった。

しかし、信じられないことに、外国ではなく国民を財源とする所得税を一九一三年に設けた。そして（繁栄は）二九年の大恐慌によって幕を閉じた。我々はより賢くなり、再び裕福になる。どんな国よりも裕福になれる。信じられないほどに。

大恐慌から一世紀近くたち、米国は経済戦争に直面している。カナダ、メキシコ、その他多数の国家の赤字を補助し続けるわけにはいかない。世界中の国の面倒を見てきた。我々は彼らの軍事費を払う。彼らが払うべきものを、払っている。残念ながら、自国民を優先しなければならない。

米国では「スリーピー・ジョー」(バイデン前米大統領)のもと、製造業の雇用流出が続き、貿易赤字は前代未聞の一兆二〇〇億ドルに達した。

米国は、自国の患者を診るだけの抗生物質を国内で生産できない。深刻な問題だ。戦争など、何かがあっても、対応できない。パソコン、携帯、テレビ、電化製品のほぼすべてを輸入に頼る。

米国はかつて、こうした分野を支配していたのに、今では Y している。中国にあるたった一つの造船所が、米国内の全造船所よりも多くの船舶を造ることができる。慢性的な貿易赤字はただの経済問題ではなくなった。国家、そして生活を脅かす非常事態だ。

【企業は投資を】

我々の良識に反論する企業に対して説明する。これは「優しい」相互関税だ。関税率がゼロであってほしいのであれば、自社の製品を米国内で製造すればいい。国内で生産した製品には関税がかからない。

ソフトバンク(グループ)など、偉大な企業は五〇〇億ドルを直ちに投資する。半導体の業界で最も重要な企業である台湾積体電路製造(TSMC)も二〇〇億ドルの投資を発表した。関税が理由だった。彼らは関税を払いたくない。米国内で工場を造ることで、関税を回避できる。

米国は全く違う国へと生まれ変わる。労働者にとって素晴らしいことだ。皆にとって素晴らしいことだ。かつてないほどの雇用と資金を流入させている。とても美しい。

今日は Z だ。数年後に、あなたが「彼は間違っていないかった。我が国にとって、あの日は最も重要な日の一つだった」と振り返ることを期待している。

(出典)『日本経済新聞』二〇二五年四月四日

総 合

*出題にあわせて、編集した箇所がある。

問1

X に入る言葉として最も適切と思われるものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 1。

- ① 政府債務よさらば
- ② すべての米国人に告ぐ
- ③ 米国の産業革命
- ④ 関税よさらば
- ⑤ 歴史的意義

問2

傍線部ア「こうした」が意味する最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 2。

- ① 諸外国が米国製品に法外な関税をかけるなどして米国の輸出を妨げていること。
- ② 仕事を行った過去の大統領たちを責めることによって米国の経済繁栄を取り戻すこと。
- ③ 敵国よりもむしろ米国の同盟国の方が米国の安全保障を脅かし、米国の産業を破壊していること。
- ④ 米国の産業基盤を破壊し、米国の安全保障を脅かしている国々。
- ⑤ 米国の産業基盤を破壊し、米国の安全保障を脅かしている国々を責めるつもりはないこと。

総 合

問 3

Y

に入る言葉として最も適切と思われるものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 3。

① 喪失

② 輸入

③ 消滅

④ 投資

⑤ 隷属

問 4

Z

に入る言葉として最も適切と思われるものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 4。

① 雇用と資金流入の日

② 関税の日

③ 米国解放の日

④ 想い出の日

⑤ 外国にNOを言う日

問5 本文で述べられている主張に合致する文章として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 5。

- ① 米国に高い関税を払いたくない国は、米国に投資して米国内に工場を造って生産すればよい。
- ② 関税や保護主義的な障壁が諸外国に見られるが、こうした政策は自由貿易に反し、国を弱体化させる。
- ③ 米国は電子レンジ、洗濯機、掃除機、テレビなどの家電製品を生産することができない。
- ④ 米国は抗生物質を国内で生産できないが、その原因は電化製品を輸入に頼っているからだ。
- ⑤ 米国はこれまで世界中の国の面倒を見てきたが、今後も国際社会のために尽力するつもりだ。

問6 本文で述べられている主張に合致する文章として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 6。

- ① 私は過剰な付加価値税を課すことによって外国の輸出を抑え、米国を再び偉大にする。
- ② 私は関税で得られる収入を利用することで政府の負債を減らし、減税も実現する。
- ③ 私は欧州連合に一〇%の関税と二〇%のVATを要求し米国の農畜産物を支援する。
- ④ 私は国民を財源とする所得税と関税を利用することで米国を再び豊かな国にする。
- ⑤ 私は「優しい」相互関税によって関税率をゼロにし米国を再び裕福な国にする。

問7 本文で述べられている主張に合致する文章として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 7。

- ① 諸外国の非関税障壁は本当にひどいものだが、とくにひどいのはタイ、インド、ベトナムであり、いずれも五〇％を超えている。
- ② これまで米国は為替を操作し、輸入品に補助金を出し、知的財産を保護し、付加価値税(VAT)を課してきたが、歴代の米国大統領はこれを許容してきた。
- ③ 安倍晋三元首相は素晴らしい人物だったし、日本人も国民性が素晴らしく、日本という国にはまったく何の問題もない。
- ④ 敵対国、友好国を問わず、これまで諸外国は米国市場へ自国製品を輸出する一方で、米国からの輸出を不当に妨害してきた。
- ⑤ バイデン大統領の下で金融業の大規模な雇用流出が続き、貿易赤字は一兆二〇〇億ドルを超えるなど前代未聞の水準に達した。

第2問 最初の文章に最も内容が近い文章を、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

問1の解答番号は 8。問2の解答番号は 9。問3の解答番号は 10。

問1 当時、X大学の近くに芳江という定食屋があった。里美と杏子はその店の筑前煮が大好きで毎週食へに行っていた。

- ① 里美と杏子は筑前煮が大好きだったが、X大学の近くに定食屋で芳江という店があった。二人は毎週その店に食へに行っていた。
- ② 当時、芳江という定食屋がX大学の近くにあった。その筑前煮が里美は大好きで毎週杏子と一緒に食へに行っていた。
- ③ X大学の近くに当時、定食屋で芳江という店があった。杏子と筑前煮はその店の里美が大好きで毎週食へに行っていた。
- ④ 定食屋で芳江という名前の店が、当時、X大学の近くにあった。杏子と里美は毎週その店で筑前煮を食べたが、二人ともその店の筑前煮が大好きだった。
- ⑤ 当時、芳江という定食屋があった。その店はX大学の近くにあり、筑前煮が大好きな里美は毎週杏子とその店に食へに行っていた。

総合

問2 美代子と康夫が親密になったのは、和子の付き人だった則夫が熱帯魚を飼っていたからだだった。

- ① 則夫は熱帯魚を飼っていて、和子を付き人にしていたため、康夫と美代子は親密になった。
- ② 付き人だった則夫が和子と熱帯魚を飼っていたので、美代子は康夫と親密な仲になった。
- ③ 和子の付き人だった則夫のおかげで、美代子と康夫の仲が熱帯魚のように親密になった。
- ④ 則夫は和子の付き人で熱帯魚を飼っていたが、それが原因で康夫と美代子は親密になった。
- ⑤ 和子は則夫を付き人にしていたが熱帯魚を飼っており、それが原因で美代子と康夫は親密になった。

問3 アリは、ノートン、フレイジャーに敗れたことがあるが、両者に勝ったフォアマンには勝利している。

- ① ノートン、アリは、フレイジャーに勝ったことがあるが、フォアマンには敗れている。
- ② ノートンは、アリに勝利したことがあるがフォアマンにも勝っており、フレイジャーも同様である。
- ③ アリは、ノートンに敗れたことがあるが、フォアマンはフレイジャーに敗れている。
- ④ フォアマンはアリに勝ったことがあるが、フレイジャーとノートンには敗れている。
- ⑤ フォアマンは、アリに勝ったことがあるがフレイジャーとノートンには勝利したが、アリには敗れている。

第3問 次の手順(要約の作法)に従って、課題文を二四〇字以上、一六〇字以内で要約しなさい。解答は第3問の解答欄。

(要約の作法)

- ① 【課題文】の中から、筆者の「もつとも言いたいこと」を表現した文をひとつ選ぶ。
- ② ①で選択した文に加えて、残る段落からひとつずつ重要な文を選ぶ。
- ③ ②で選んだ文をそのままの順でつなげて、不要な修飾語や「」などを削り、字数を整えて要約を作成する。
- ④ 要約は、各段落から選んだ六文で構成され、また、課題文の表現を踏襲することを原則とする。

*表記に関する注意

- ・ 最初の一マスを空ける必要はない。
- ・ 句読点は字数に含める。
- ・ 数字は、アラビア数字で、一マスに二桁まで記入するものとする。

(例)

1

99

【課題文】

「巨人ざらい」の話は聞いても、「長嶋ざらい」の人にお目にかかったことはない。だれにでも愛される、幸福な人——。一九七四年、長嶋茂雄さんが現役を引退するという日の朝に、天声人語は敬意を込め、そう書き出している。

半世紀が過ぎても、印象は変わらない。きのう訃報（ふほう）に接し、謹んで同じ言葉を贈りたい気持ちである。愛された理由は何よりも、明るさではなかったか。こういう人をまさにスターと呼ぶのだろう。

思い出すのは、幼いころ、夏の夕暮れに見た野球中継の光景だ。家族や近所の人たちと縁側に座り、白黒テレビの小さな画面に見入った。「四番、サード、長嶋」。あの何とも言えぬ調子のアナウンスが流れると、もう、たまらない。どっと揺さぶられるようにみんなの声が上がり、物語が始まった。

デビュー戦の四打席連続の三振をはじめ、規格外の逸話は事欠かない。苦難をものともせず、がむしやらに立ち向かっていく。晩年の闘病生活もそうだった。挑戦を続けるミスターの姿に、どれだけ多くの人が励まされたことか。

昭和の高度成長の時期、人々の目の前にある現実は決して明るさばかりではなかった。いや、むしろ影の闇の深さの分だけ、長嶋さんという光の輝きが、より強く浮かび上がったのかもしれない。

「失敗は成功のマザー」「初めての還暦を迎えました」。言葉の妙で、だれをも笑顔にさせる天才だった。幾多の人が明日を信じ、歯を食いしばった時代の象徴が、遠くへと旅立った。

（出典）『朝日新聞』二〇二五年六月四日

* 出題にあわせて、編集した箇所がある。

[illegible]

合 第4問 次の問いに答えよ。
総

以下は、カフェ（喫茶店）の田中屋とマリのメニュー表をメモしたものである。これらのメニュー表のメモを比較したときに分かるお店の営業形態やメニュー内容に関する情報を六〇字以上、八〇字以内でまとめなさい。なお、それぞれのメニュー表にあるもので同一名称のものはすべて同じ料金とする。解答は第4問の解答欄。

田中屋（営業時間 11：00～22：00）

<メニュー表>

ショートケーキ、チョコレートケーキ、プリン、シ
ュークリーム、アップルパイ、レアチーズケーキ
おだんご、どらやき、ようかん、もなか、おはぎ、
栗まんじゅう
コーヒー、紅茶、オレンジジュース、コーラ

マリ（営業時間 9：00～17：00）

<メニュー表>

ショートケーキ、プリン
おだんご、どらやき
コーヒー、紅茶、オレンジジュース、コーラ、
レモンスカッシュ、メロンソーダ、アップルサイダー、
ジンジャーエール、トマトジュース

*表記に関する注意

・ 最初の一マスを空ける必要はない。

・ 句読点は字数に含める。

・ 数字は、アラビア数字で、一マスに二桁まで記入するものとする。

（例）

1

99

[illegible]

総合

問題番号	正解
1	5
2	1
3	2
4	3
5	1
6	2
7	4
8	4
9	4
10	5

第3問、第4問の筆記解答は省略